

きょうと食いく先生の活動を支え、子育て家庭の食育を推進 ～ きょうと食いく先生活動拡大・強化事業費 ～

1 趣旨

学校等での食育を支える「きょうと食いく先生」の活動を強力にバックアップし、農作業・調理体験等の体験を重視した食育を推進しつつ、地域や府民に加え、子育て家庭をはじめ若い世代への日常の食育に取り組むとともに、ICTを効果的に活用した情報発信等の取組も併せて推進し、次世代への食育効果を高める。

2 事業概要

学校等での体験型食育の強化のため、食いく先生等の派遣を支援するとともに、地域や府民（特に若い世代）の食育も推進する。

(1) 食いく先生等派遣事業費 **2,400千円**

学校、保育所、地域等での体験型食育を支援するため、食いく先生等を派遣
対象：府内の学校、保育所、食育に取り組もうとする団体等
年間580授業を実施

(2) 食いく先生交流・スキルアップ等事業費 **144千円**

食いく先生と教育関係者の交流会：オンラインで約60名が参加
 食いく先生養成講座：4つの振興局と府庁の5箇所をつないで開催

(3) 食育力向上事業費 **734千円**

食育トークショーの開催、食育啓発レシピの作成
事業対象経費：トークショー開催費用、レシピ動画撮影費用
対象：若い世代及び子育て世代の府民等
 R7は動画2本、食育トークショーを実施

(4) 食育力向上事業費 **42千円**

若い世代を対象とした食育出前授業を大学で実施
対象：京都府立大学農学食料学部和食文化科学科1回生（35人程度）
 農業者や食いく先生を学生自らが取材、発表する計3回の連続講座

3 令和8年度予算要求額 **3,320千円**

その他

食育ネットワークの取組として

- ・食のみらい宣言実践活動コンクール
- ・サポート企業との連携
 （大塚製薬（株）との朝食摂取促進、味の素（株）との野菜摂取促進など）